

プログラム

1 日目 7月18日(日)

口頭発表1 (メンタルヘルス) 10:00 ~ 12:00 N211 座長 久田 満
佐藤良香

- 1-1 荒井久美・久田 満
労働者における職場へのコミュニティ感覚とメンタルヘルス (1)
- 1-2 久田 満・荒井久美
労働者における職場へのコミュニティ感覚とメンタルヘルス (2)
- 1-3 嘉陽正倫
地域高齢者の心の支援に関する研究
- 1-4 佐藤良香
ボランティア活動者の生育史およびライフイベントの意味づけに、活動経験が与える影響

口頭発表2 (子ども家庭支援) 10:00 ~ 12:00 N212 座長 西澤奈穂子
久野光雄

- 2-1 山下智也
子どもの居場所形成プロセスに関する実践的研究
- 2-2 鬼塚史織
子育てグループに参加する母親の意識の変容に関する研究
- 2-3 西澤奈穂子
知的障害のある親の子育て支援
- 2-4 久野光雄・上江昇一・加藤まり・高橋英樹・竹内ゆり・田中美穂
心理職におけるニーズ把握の視点

口頭発表3 (予防・心理適応) 16:00 ~ 18:00 N211 座長 塩谷 亨
池田 満

- 3-1 飯塚美里・塩谷 亨・山上史野・木村竜也
大学生を対象としたEDV経験に関する実態調査の報告 (1)
- 3-2 塩谷 亨・山上史野・長谷川明弘・増田梨花・大矢寿美子・花崎有紀子
社員の自殺を巡る企業に対する臨床心理士の事後対応の報告 (1)
- 3-3 花崎有紀子・塩谷 亨・山上史野・長谷川明弘・大矢寿美子・増田梨花
社員の自殺を巡る企業に対する臨床心理士の事後対応の報告 (2)
- 3-4 池田 満・池田琴恵
研究者 - コミュニティパートナーシップに基づく予防プログラムの実践 (5)

口頭発表4 (連携・協働) 16:00 ~ 18:00 N212 座長 田中勝則
岡本淳子

- 4-1 田中勝則
地域と大学との協働による研修講座を通じた子育て支援コミュニティの醸成
- 4-2 岡本淳子
学校臨床心理領域におけるコーディネーターの行政との連携における役割
- 4-3 黒田浩司
地域がんセンター緩和ケアチームとのコラボレーション
- 4-4 深尾 誠・山崎晴男
学校という場を通してのコミュニティづくりに関する調査研究 (II)

1日目 7月18日(日)

ポスター発表1 (学校・教育) 10:00 ~ 11:30 N323

- 1-1 伊藤亜矢子・河崎友里
小学生における「感謝」とソーシャルサポートに関する研究
- 1-2 佐々木章乃・伊藤亜矢子
中学校におけるいじめ加害者指導の方略の検討
- 1-3 斎藤富由紀・社浦竜太・村山由貴
社会教育における高校生のキャリア支援プログラムの効果
- 1-4 社浦竜太・村山由貴・斎藤富由紀
中学校における集団SSTの効果に関する検討 1
- 1-5 村山由貴・斎藤富由紀・社浦竜太
中学校における集団SSTの効果に関する検討 2
- 1-6 杉岡正典
大学生の自殺予防にむけた学内連携に関する予備調査
- 1-7 高橋美枝・小出ひろ美・福島里美・福島 円・鷓養美昭
中学生はなぜ学校へ行くのか
- 1-8 畑 倫子・雨宮 護・菊池城治・原田 豊・島田貴仁・齊藤知範
小学生児童の外出に対する保護者の規制
- 1-9 山口豊一・家近早苗
中学校のマネジメント委員会における機能の構造
- 1-10 渡辺由己
大学生活から知覚されるイメージの動的関連性に関する研究

ポスター発表2 (職場・国際問題) 16:00 ~ 17:30 N323

- 2-1 伊藤亜希・田辺 肇
性被害者が援助を求められるようになるために
- 2-2 源氏田憲一
日常行われている受容的 / 非受容的サポートの内容
- 2-3 園田智子
外国人相談実務者研修における相談員のコミュニティ形成と学び
- 2-4 高杉葉子
コミュニティ心理学からみたカルト問題へのアプローチ
- 2-5 高橋美保・森田慎一郎・石津和子
失業者に対する意識
- 2-6 高橋 直・中原秀樹・前川均・谷光清
グリーンIT (SCS / SPC) がもたらす価値を測定する尺度の開発と因子構造の探索
- 2-7 谷淵真也・高田 純・杉岡正典
滞日日系ブラジル人児童生徒支援のための支援者ネットワーキングの試み (その2)
- 2-8 中川浩子
中年期女性のライフキャリア・アンカー調査
- 2-9 星野大輔
就業形態の差異による時間的展望の構造
- 2-10 増田真也
ワークライフバランスとメンタルヘルス
- 2-11 松永知恵子
難民支援における心理ワークショップの役割

2日目 7月19日(月)

口頭発表5 (異文化・居場所) 10:00 ~ 12:00 N211 座長 阿部祐子
目黒達哉

- 5-1 阿部祐子
在日短期留学生の地域社会への参入
- 5-2 黄 美蘭
日本語学校に通う中国人学生の被差別感と原因帰属との関連
- 5-3 朴 貞玉
日本生活における韓国人母親の困難点
- 5-4 目黒達哉
傾聴ボランティアに関する実践研究 (3)

口頭発表6 (学校・教育) 10:00 ~ 12:00 N212 座長 小栗貴弘
荊木まき子

- 6-1 中村香奈子・小栗貴弘
不登校予防プログラムの効果評価に関する研究 (1)
- 6-2 小栗貴弘・中村香奈子
不登校予防プログラムの効果評価に関する研究 (2)
- 6-3 池田琴恵・池田 満
G T O ™ ツールを用いた学校評価実施の技術支援とその効果②
- 6-4 荊木まき子・森田英嗣
学校児童・生徒支援体制構築の背景とその方略

ポスター発表3 (医療・保健福祉) 10:00 ~ 11:30 N323

- 3-1 赤田太郎・鈴木智裕
保育士のストレス対処法の特性とメンタルヘルス支援について
- 3-2 鈴木智裕・赤田太郎
保育士の子どもに関わる動機付けとメンタルヘルス支援について
- 3-3 飯塚暁子
総合病院における臨床心理士のコンサルテーション・リエゾン活動
- 3-4 江口昌克・伊藤未希
「ひきこもり」支援における訪問活動の意義の検討 (第 1 報)
- 3-5 伊藤未希・江口昌克
「ひきこもり」支援における訪問活動の意義の検討 (第 2 報)
- 3-6 上原施門
障害者家族の相互支援ネットワーク形成と「家族力」の諸側面
- 3-7 大橋 智・脇 貴典
保育巡回相談におけるコンサルテーション効果評価尺度作成の試み
- 3-8 大畠みどり
看護師における心理専門職への援助要請に対する態度とその関連要因
- 3-9 久保義郎・平川晴加
医療機関において心理士のとり得る役割とその独自性について (1)
- 3-10 平川晴加・久保義郎
医療機関において心理士のとり得る役割とその独自性について (2)
- 3-11 徳山美知代
児童養護施設における治療的養育としての心理的援助

大会企画シンポジウム 7月18日(日)

13:00 ~ 15:30 N312

子が育つコミュニティへの貢献 - コミュニティ心理学の力 -

話題提供 西川 正 (ハンズオン埼玉)
横須賀聡子 (水戸こどもの劇場)
三沢直子 (コミュニティ・カウンセリング・センター)
指定討論 市野川容孝 (東京大学)
コーディネーター 武田信子 (武蔵大学)

大会企画講演 7月19日(月)

14:15 ~ 15:45 N312

子どもの力とコミュニティ - 【2つの世界】と3つの力 -

講演者 長谷川幸介 (茨城大学生涯学習教育研究センター)
司会者 高畑 隆 (埼玉県立大学)
企画 第13回大会準備委員会

自主企画ミニシンポジウム 7月19日(月)

14:15 ~ 16:45 N211

心理臨床家によるケアワーカートレーニングの試み

企画者 羽下大信 (甲南大学大学院)
司会者 田中桂子 (神鋼ケアライフ株式会社 橋村メンタルクリニック)
話題提供 羽下大信
田中桂子
指定討論 中野泰志 (慶應義塾大学)

1 日目 7月18日(日)

	第1会場 (1F N211)	第2会場 (1F N212)	第3会場 (2F N323)	第4会場 (1F N312)	第5会場 (3F N333)
09:00	09:00- 開場・受付開始				
10:00	10:00-12:00 口頭発表1 メンタルヘルス	10:00-12:00 口頭発表2 子ども家庭支援	10:00-11:30 ポスター発表1 学校・教育		
12:00	12:00- 昼食・休憩				12:00-12:45 院生のつどい
13:00				13:00-15:30 大会企画シンポジウム	
16:00	16:00-18:00 口頭発表3 予防・心理適応	16:00-18:00 口頭発表4 連携・協働	16:00-17:30 ポスター発表2 職場・国際問題		
18:30	18:30-20:30 懇親会(会場:アカデミックホール)				

2 日目 7月19日(月)

	第1会場 (1F N211)	第2会場 (1F N212)	第3会場 (2F N323)	第4会場 (1F N312)	第5会場 (3F N333)
09:00	09:00- 開場・受付開始				
10:00	10:00-12:00 口頭発表5 異文化・居場所	10:00-12:00 口頭発表6 学校・教育	10:00-11:30 ポスター発表3 医療・保健福祉		

12:00	12:00- 昼食・休憩	
-		
13:00		13:00-14:00 総会
-		
14:15	14:15-16:45 自主企画ミニ シンポジウム	14:15-15:45 大会企画講演 (一般公開)
-		

日本コミュニティ心理学会 第 13 回大会 の開催にあたって

日本コミュニティ心理学会第 13 回大会を、立教大学新座キャンパスにおいて開催する運びとなり、皆さまをお迎えできますことを大変うれしく存じます。当キャンパスでの開催は、2002 年の第 5 回大会に次いで二回目となりますが、キャンパスの発展ぶりも合わせてご覧いただければ幸いです。

今大会では、「子が育つコミュニティへの貢献～コミュニティ心理学の力」を統一テーマに掲げ、さまざまな企画を用意いたしました。多数のエントリーをいただいた口頭発表・ポスター発表はもとより、「子が育つコミュニティへの貢献～コミュニティ心理学の力」をテーマとした大会企画シンポジウム、「子どもの力とコミュニティ」に関する大会企画講演、自主ミニシンポ、そして趣向を凝らした懇親会を開催いたします。

皆さまと集い、論議することを通して、子どもの育ちを軸とする危急の課題への取り組みに対し、コミュニティ心理学が果たしてきた貢献と継承＝コミュニティ心理学の「力」をあらためて確認していきたいと願っております。

また、大会前日（7 月 17 日）に立教大学池袋キャンパスにおいておこなわれます研究・研修・倫理委員会合同企画による「プログラム評価」に関するワークショップ（講演会と分科会）とあわせて、コミュニティをエンパワーするさまざまな実践活動をどのように評価し、効果あるものにしていくかについての議論と学びをともに深めて参りたいと思っております。

二日間の大会期間中は不行き届きのことも多々あるかと存じますが、運営スタッフ一同、精一杯がんばる所存でおりますので、何卒ご理解ご協力を賜るようお願い申し上げます。

末筆ながら、本大会の開催にあたっては、立教大学および新座事務部、心理教育相談所スタッフ、学部・大学院生、OB・OGの皆さま、そして、地域の子どもとその家族の支援活動に邁進しておられる皆さまに多大なご支援とご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

日本コミュニティ心理学会第 13 回大会
準備委員長 箕口 雅博
副委員長 福山 清蔵

大会参加案内

1. 受付

受付は、1号館1階にて行います。受付開始時刻は、2日間とも9:00となっております。
連絡などは、受付横の掲示にてお知らせいたします。

2. 参加費

大会参加費 7,000円(正会員)
8,000円(臨時会員)
4,000円(学生会員...学生であることを証明できる書類をご提示ください。)
懇親会費 6,000円(※原則予約制です。余裕がある場合のみ当日受付を行います。)

3. 名札

受付にて名札をお渡しします。氏名・所属を記名し、会場内ではかならずご着用ください。

4. 書籍展示・休憩室

2号館1階(N213)にて、書籍展示・販売を行います。協賛企業は、広告掲載のとおりです。
同じく2号館1階(N214)には、湯茶をご用意いたします。ご自由にお入りください。

5. 駐車場

緊急車両を除き、駐車場の用意はございません。ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

6. 総会

日時 7月19日(月)13:00~
会場 N312(3号館1階)

7. 理事会

日時 7月17日(土)18:00~
会場 池袋キャンパス
(※理事の方には軽食を準備いたします。)

8. 編集委員会

日時 7月17日(土)17:00~
会場 池袋キャンパス
(※編集委員の方には軽食を準備いたします。)

9. 大会企画講演

一般公開されます。内容は、プログラムをご覧ください。

研究発表案内

A. 口頭発表

- 受付 会場に 15 分前までにお出てください。
- 構成 各セッションは，2 時間で構成されます。
- 発表 1 件につき 20 分以内
- 質疑 1 件につき 10 分以内
- 機器 Windows XP 上で Power Point2007 が動作します。
Mac をご使用の方は，各自でお持ちください。(※アダプターもお願いします。)
データは USB ないし DVD でお持ちください。
実物投影機も使用できます。
- 資料 各発表者の責任において，ご準備ください。
- 運営 運営の詳細は，座長に一任されます。(※ただし，時間厳守でお願いします。)

B. ポスター発表

- 受付 会場に 15 分前までにお出てください。
- 構成 各セッションは，1 時間 30 分で構成されます。
- 在席 奇数番号の方は，前半 45 分間。偶数番号の方は，後半 45 分間。
- 質疑 在籍責任時間に，活発な質疑・討論をお願いします。
- 資料 各発表者の責任において，ご準備ください。
- 形状 横 90cm×縦 180cm の範囲に収まるよう作成してください。

C. 自主企画シンポジウム

- 受付 会場に 10 分前までにお出てください。
- 構成 セッションは，2 時間 30 分で構成されます。
- 機器 Windows XP 上で Power Point2007 が動作します。
Mac をご使用の方は，各自でお持ちください。(※アダプターもお願いします。)
データは USB ないし DVD でお持ちください。
実物投影機も使用できます。
- 資料 企画者の責任において，ご準備ください。
- 運営 運営の詳細は，企画者に一任されます。(※ただし，時間厳守でお願いします。)